

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

山峡に沁みごと遠く鳴く蝉の明日の命を知るやその声
 磊落に添ひ来し日々にあらざればいらへなき遺影に頭を垂るる
 七十七回目の終戦の日の昼下がりに蝉鳴きしきる
 涙雨少しばらつき出棺の友を見送る眼を閉じて
 断崖の岩場に鴉が巢ごもりて海荒るるたび群れて騒がし
 おやみなく岩を洗へる波に揺る浜の藻が照る秋の光に
 台風に山近き墓地木々散らす土手ひとところ彼岸花映ゆ

榎平 頼子
 米尾 和子
 坂之下典子
 中山タマエ
 浜田美代子
 松元 睦子
 岩下 ち江

一般作品

長島の

歌人集まる

広場あり

ヤシの木をスルスル登る軽業師腰縄使い身体反らせて
 娘逝きコロナも知らず四年過ぎ夢の姿は孩提のまま
 七夕や折り鶴にかく願いと吾のことより孫たちのこと
 盆過ぎてぱつたりと止みし熊蟬の声なき空間は秋の気配す
 何事も事なき用に成すならば人生なるよ我事なのよ
 ナイフフォークは使わんと初対面から四十年義父が逝きたり

小林 貢
 小林 如月
 中飯屋辰子
 後藤ヨシエ
 町田 末則
 母木 良平

明神俳句会

熱飯や盛夏見舞の海苔づくし
 夜もぬるき蛇口の水や終戦忌
 紅差さぬ日暮は早し日日草
 孫と我と手花火の夜は更けゆきて
 八月や三年取りやめ奉納舞
 八月や胸中厚く競の牛

淵脇 護
 追口 君代
 白男川孝仁
 関 喜久雄
 二階堂妙子
 山壽加代子

コロナ禍の会えぬ別れや日日草
 吹く風に色どりそふる日日草
 花火終へ潮騒の音聞ふかし
 水脈引きて沖へと船や夏盛り
 盛夏に若者集ひ甲子園

大堂 早苗
 坂口 静子
 大堂 正弘
 関 佳代美
 二階堂恵子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



気をつけよう!
 自転車トラブル

出版社：汐文社

自転車に乗る人が守るべき交通ルール、問われる責任や罰則など、まんがを使ってわかりやすく紹介します。



怒鳴られ駅員の
 メンタル非常ボタン

著：綿貫 渉

駅員の日常をのぞくことで小さな悩みは吹っ飛ばような、そんなエッセイです。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121